

目標Ⅰ だれもが“安全”に自転車ができる ～安全性の向上～

No.	重点事業	施策事業名・計画への位置付け	平成24年度の主な取組	目標達成状況（重点事業／平成24年度末見込み） 平成25年度の方向性												
1	◎	新たな自転車走行空間の整備 →優先整備路線（16路線）において、道路状況に応じた自転車走行空間の整備を行う。	● 優先整備路線における自転車走行空間の整備（別紙「整備路線位置図」参照 競輪場通り（今泉新町交差点西～東署南交差点）：L=520m〔自転車専用通行帯〕 （松原3丁目交差点～下戸祭2丁目の一部区間）：L=400m〔自転車専用通行帯〕 市道3761号線（弁才天橋～競輪場通りの一部区間）：L=600m〔自転車専用通行帯〕 富士見通り（不動前通り～中央図書館西）：L=900m〔自転車専用通行帯〕※「南宇都宮駅前通り」の代替路線 オリオン通り：L=480m〔注意喚起表示〕※ 歩行者に配慮した走行を促す暫定的な整備 ユニオン通り：L=370m〔注意喚起表示〕※ 路線バスの運行開始と併せて左側通行を促す暫定的な整備	目標達成状況〔達成率〕 <table border="1"> <thead> <tr> <th>策定時</th> <th>H23末</th> <th>H24末</th> <th>目標（H27）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="3">自転車走行空間の整備延長</td> </tr> <tr> <td>9.6 km</td> <td>14.5 km</td> <td>16.9 km [46.2%]</td> <td>25.4 km</td> </tr> </tbody> </table>	策定時	H23末	H24末	目標（H27）		自転車走行空間の整備延長			9.6 km	14.5 km	16.9 km [46.2%]	25.4 km
			策定時		H23末	H24末	目標（H27）									
					自転車走行空間の整備延長											
9.6 km	14.5 km	16.9 km [46.2%]	25.4 km													
  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【参考（栃木県整備）】 今小路通り：L=700m 〔自転車専用通行帯〕 上三川街道：L=200m 〔自転車歩行者道の分離〕 </div>																
● 自転車走行空間整備に併せた走行実験等の実施 ① 自転車歩行者道における一方通行化走行実験（宇都宮市） 実施場所等：いちよう通り（松が峰1丁目から天神1丁目）／平成25年2月から 実施内容：歩道内の自転車走行位置へのピクトグラムを設置し、一方通行の遵守状況を検証 自転車走行空間の整備手法による走行性、安全性の違いを検証 ② 交差点等における自転車走行位置明示の試行実施（宇都宮国道事務所，宇都宮市） 実施場所等：競輪場通りと国道4号線の交差点等／平成25年2月から 実施内容：交差点部と単路部における自転車走行位置の明示による安全性、快適性を検証																
  																
2		自転車サインの整備 →サイクリングロード，駐輪場などを迷うことなく利用できるようなわかりやすい標識などの整備を行う。	● 中心部におけるレンタサイクル情報の拡充及び案内看板の新設 平成23年度に定めた「自転車サイン整備方針」に基づき，中心部の駐輪場案内看板や「自転車放置禁止区域」看板にレンタサイクル情報を新たに掲載するとともに，市営駐輪場案内看板を新設 <平成23年度> 既存看板へのレンタサイクル情報の掲載（10箇所） <平成24年度> 既存看板へのレンタサイクル情報の掲載（2箇所），市営駐輪場案内看板新設（2箇所）	平成25年度の方向性 「自転車サイン整備方針」に基づき，拠点施設「宮サイクルステーション」の案内看板の新設や田川サイクリングロードの分岐地点などへの誘導案内の新設に取り組んでいく。												

平成25年度の方向性

- 「旧鹿沼街道」「西原・宮の原通り」「いちよう通り（未整備区間）」において，道路状況に応じた自転車走行空間の整備を推進していく。
- 平成24年11月に国が策定した「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」や現在策定中の「栃木県版ガイドライン」を踏まえ，交通管理者と協議を行いながら，さらに安全性の高い整備を行っていく。
- いちよう通りにおける走行実験や国道4号線の交差点等における自転車走行位置明示の試行実施の検証結果を踏まえながら，自転車歩行者道や交差点部における整備手法を確立していく。
- 自転車を楽しめる環境づくりや良好な自転車利用環境を創出していくため，新たなサイクリングロードの整備に向けた調査を実施していく。

※「サイクリングロードの整備」については，自転車のまち推進計画では以下のとおり位置付けられている。

目標Ⅲ だれもが“楽しく”自転車ができる

- サイクリングロードの整備**
 スポーツとして自転車を楽しめる環境づくりや自転車利用による健康増進に向けて，良好な自転車の利用環境を創出するため，自転車利用者のニーズを踏まえながら，既存のサイクリングロードを活用した整備を検討

3	◎	交通安全教室等の継続・拡充 →幼稚園や保育園，小・中学校と老人クラブなどの高齢者を対象とした交通安全教室について，対象者や実施内容の拡充を図る。	● 交通安全教室等の拡充 「第9次宇都宮市交通安全計画」に基づき，地域住民や学校，県警などと連携しながら，様々な交通安全教室，啓発活動を実施 ① 宇都宮ブリッツェンと連携した自転車安全利用教室 交通ルール，自転車ヘルメット着用の重要性についての講話や自転車の安全な乗り方を学ぶ実技講習など，宇都宮ブリッツェンと連携した自転車安全利用教室を実施 ② スケアードストレイト方式による交通安全教室 自動車と自転車の衝突事故や道路交通法に違反する自転車の乗り方による事故などをスタントマンが再現し，交通ルールを遵守することの大切さを学ぶ交通安全教室を実施 ③ 自転車の安全な利用のための街頭指導 オリオン通りで実施している街頭指導について，自転車の通行量や県警が指定した「自転車指導啓発重点地区・路線」の状況などを踏まえ，実施箇所を7箇所拡大して実施 ④ 子ども自転車免許事業，高齢者自転車免許教室 子ども自転車免許事業について，私立を含めた市内全70校で実施するとともに，県警と連携した高齢者自転車免許教室を5地域で実施 ⑤ 地域での交通安全教室 地域イベントなど多くの人が集まる場所で，高齢者や児童などを対象に自転車シミュレーターを使った体験型の自転車教室の開催	 <p>宇都宮ブリッツェン自転車安全利用教室</p>  <p>スケアードストレイト方式交通安全教室</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">目標達成状況〔達成率〕</th> </tr> <tr> <th>策定時</th> <th>H23 末</th> <th>H24 末</th> <th>目標 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 宇都宮ブリッツェンと連携した自転車安全利用教室導入学校数 (年間)</td> <td>—</td> <td>3校 (1,902人)</td> <td>5校 (2,131人) 〔31.3%〕</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>② スケアードストレイト実施回数 (年間)</td> <td>—</td> <td>5回 (2,494人)</td> <td>7回 (4,497人) 〔116.7%〕</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※目標値は「宇都宮市交通安全計画」における施策毎の活動指標で設定</p>	目標達成状況〔達成率〕				策定時	H23 末	H24 末	目標 (H27)	① 宇都宮ブリッツェンと連携した自転車安全利用教室導入学校数 (年間)	—	3校 (1,902人)	5校 (2,131人) 〔31.3%〕	16校	② スケアードストレイト実施回数 (年間)	—	5回 (2,494人)	7回 (4,497人) 〔116.7%〕	6回
					目標達成状況〔達成率〕																		
策定時	H23 末	H24 末	目標 (H27)																				
① 宇都宮ブリッツェンと連携した自転車安全利用教室導入学校数 (年間)	—	3校 (1,902人)	5校 (2,131人) 〔31.3%〕	16校																			
② スケアードストレイト実施回数 (年間)	—	5回 (2,494人)	7回 (4,497人) 〔116.7%〕	6回																			
<p>平成25年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路交通法の改正状況に応じながら，自転車安全利用教室やスケアードストレイト方式の交通安全教室などの内容の充実を図り，取組を継続して実施していく。 ・ 平成24年度に実施箇所を拡大した街頭指導について，地域住民や学校，県警などとの連携を強化しながら，より効果的な指導を行っていく。 																							

目標Ⅱ だれもが“快適”に自転車が使える ～快適性の向上～

No.	重点事業	施策事業名・計画への位置付け	平成24年度の実施状況	目標達成状況 (重点事業/平成24年度末見込み) 平成25年度の方向性																							
4	◎	休憩スポットの創出 (自転車の駅) →自転車の連続運転による疲れを癒すとともに，簡単な自転車の修理等ができる休憩スポット (自転車の駅) を整備する。	● 休憩スポット「自転車の駅」の設置 既存施設に自転車修理工具や空気入れポンプ，スポーツバイク用駐輪ラックを配備し，様々な自転車利用をサポートする「自転車の駅」について，コンビニエンスストアと連携して設置を推進するとともに，誘導案内の充実に向けて案内看板を新設 <設置施設> ※下線は平成24年度新設施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>箇所数</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共施設</td> <td>11箇所</td> <td>河内地域自治センター，平石・清原・横川・城山・国本・豊郷地区の各市民センター，梵天の湯，サイクリングターミナル，ろまんちっく村，<u>オリオンスクエア</u></td> </tr> <tr> <td>民間施設</td> <td>19箇所</td> <td>セブンイレブン →石井東店・インターパーク店・森林公園入口店・<u>下田原店</u>・<u>宝木本町店</u>・<u>岡本中央店</u>・<u>平出バイパス店</u>・<u>下平出店</u>・<u>姿川店</u>・<u>下栗新4号南店</u> ファミリーマート →大曾店・<u>河内上田原店</u>・<u>徳次郎店</u>・<u>野沢店</u>・<u>白沢街道店</u>・<u>のざわや屋板町店</u>・<u>北若松原二丁目店</u> ローソン →柳田町店・<u>新里店</u></td> </tr> </tbody> </table>	区分	箇所数	施設名	公共施設	11箇所	河内地域自治センター，平石・清原・横川・城山・国本・豊郷地区の各市民センター，梵天の湯，サイクリングターミナル，ろまんちっく村， <u>オリオンスクエア</u>	民間施設	19箇所	セブンイレブン →石井東店・インターパーク店・森林公園入口店・ <u>下田原店</u> ・ <u>宝木本町店</u> ・ <u>岡本中央店</u> ・ <u>平出バイパス店</u> ・ <u>下平出店</u> ・ <u>姿川店</u> ・ <u>下栗新4号南店</u> ファミリーマート →大曾店・ <u>河内上田原店</u> ・ <u>徳次郎店</u> ・ <u>野沢店</u> ・ <u>白沢街道店</u> ・ <u>のざわや屋板町店</u> ・ <u>北若松原二丁目店</u> ローソン →柳田町店・ <u>新里店</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">目標達成状況〔達成率〕</th> </tr> <tr> <th>策定時</th> <th>H23 末</th> <th>H24 末</th> <th>目標 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休憩スポット (自転車の駅) の設置数</td> <td>—</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所 〔83.3%〕</td> <td>36箇所</td> </tr> </tbody> </table>	目標達成状況〔達成率〕				策定時	H23 末	H24 末	目標 (H27)	休憩スポット (自転車の駅) の設置数	—	16箇所	30箇所 〔83.3%〕	36箇所
			区分	箇所数	施設名																						
公共施設	11箇所	河内地域自治センター，平石・清原・横川・城山・国本・豊郷地区の各市民センター，梵天の湯，サイクリングターミナル，ろまんちっく村， <u>オリオンスクエア</u>																									
民間施設	19箇所	セブンイレブン →石井東店・インターパーク店・森林公園入口店・ <u>下田原店</u> ・ <u>宝木本町店</u> ・ <u>岡本中央店</u> ・ <u>平出バイパス店</u> ・ <u>下平出店</u> ・ <u>姿川店</u> ・ <u>下栗新4号南店</u> ファミリーマート →大曾店・ <u>河内上田原店</u> ・ <u>徳次郎店</u> ・ <u>野沢店</u> ・ <u>白沢街道店</u> ・ <u>のざわや屋板町店</u> ・ <u>北若松原二丁目店</u> ローソン →柳田町店・ <u>新里店</u>																									
目標達成状況〔達成率〕																											
策定時	H23 末	H24 末	目標 (H27)																								
休憩スポット (自転車の駅) の設置数	—	16箇所	30箇所 〔83.3%〕	36箇所																							
<p>平成25年度の方向性</p> <p>「自転車の駅」が市内を面的にカバーできるよう，コンビニエンスストアとの連携を強化しながら，設置を推進するとともに，民間施設の積極的な事業参加を促す仕組みや新たなサービスの提供などについて検討を進めていく。</p>																											



「自転車の駅」を新設したコンビニエンスストア



新設した「自転車の駅」案内看板

5	◎	鉄道駅周辺の駐輪場整備 → J R 宇都宮駅周辺の市営駐輪場の定期利用待ちや周辺の放置自転車を解消するため、市有地や駅周辺の歩道上などを活用した駐輪場整備に取り組む。	● 鉄道駅周辺の駐輪場整備 ① J R 宇都宮駅西口市営駐輪場 平成23年度から拡充整備を進めてきた J R 宇都宮駅西口市営駐輪場について平成24年4月に供用を開始 収容台数：2,984台 → 3,224台(240台増) 最大待機者数：182人(H23) → 95人(H24) ※現在7人(H25.1) ② 東武江曾島駅駐輪場 市道上暫定駐輪場に代わる駐輪場の整備(約250台)を進めており、平成25年6月に供用を開始する予定	 <p>拡充した J R 宇都宮駅西口市営駐輪場</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">目標達成状況〔達成率〕</th> </tr> <tr> <th>策定時</th> <th>H23 末</th> <th>H24 末</th> <th>目標 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">鉄道駅周辺の駐輪場収容台数</td> </tr> <tr> <td>7,912 台</td> <td>8,692 台</td> <td>8,692 台 [102.1%]</td> <td>8,512 台</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">平成25年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> J R 宇都宮駅周辺については、今後の駐輪状況を見極めながら、必要に応じて新たな駐輪場の整備を検討していく。 J R 岡本駅西口駅前広場の整備と合わせた駐輪場整備を進めていく。 	目標達成状況〔達成率〕				策定時	H23 末	H24 末	目標 (H27)	鉄道駅周辺の駐輪場収容台数				7,912 台	8,692 台	8,692 台 [102.1%]	8,512 台
		目標達成状況〔達成率〕																			
策定時	H23 末	H24 末	目標 (H27)																		
鉄道駅周辺の駐輪場収容台数																					
7,912 台	8,692 台	8,692 台 [102.1%]	8,512 台																		
6	○	バス停付近への駐輪場整備 → 主要なバス路線沿線において、道路幅員などの状況を踏まえながら道路上への駐輪場整備を推進するとともに、市有地や公共施設の活用を検討する。	● バス停付近への駐輪場整備 「平出工業団地公園」内の既存駐輪場を有効活用し、バス利用者も利用できるよう「サイクル&バスライド用駐輪スポット」のサインを設置 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【参考】</p> <table border="0"> <tr> <td>栃木県</td> <td>堀切バス停(上り)</td> <td>15台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>稚ヶ坂坂上バス停(下り)</td> <td>15台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>西中丸バス停(下り)</td> <td>15台</td> </tr> <tr> <td>バス事業者</td> <td>細谷車庫(拡充 45→60台)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>柳田車庫(拡充 15→30台)</td> <td></td> </tr> </table> </div>	栃木県	堀切バス停(上り)	15台		稚ヶ坂坂上バス停(下り)	15台		西中丸バス停(下り)	15台	バス事業者	細谷車庫(拡充 45→60台)			柳田車庫(拡充 15→30台)		 <p>「平出工業団地公園」既存駐輪場</p>	<p style="text-align: center;">平成25年度の方向性</p> 計画に位置付けた検討箇所について、市有地や公共施設を活用した駐輪場整備を行うとともに、引き続き、栃木県やバス事業者などと連携しながら事業を推進していく。	
栃木県	堀切バス停(上り)	15台																			
	稚ヶ坂坂上バス停(下り)	15台																			
	西中丸バス停(下り)	15台																			
バス事業者	細谷車庫(拡充 45→60台)																				
	柳田車庫(拡充 15→30台)																				
7	○	短時間駐輪スポットの整備 → 放置自転車が多いオリオン通りなどの都心部において、中心市街地の主な来訪目的や自転車利用者のニーズに応じた短時間スポットの整備を行う。	● 短時間駐輪スポットの整備 平成23年度にオリオン通りにおいて実施した「歩行者自転車共存社会実験」の実施結果を踏まえ、中心市街地商店街に対する既存の補助制度を拡充し、店舗敷地内に駐輪ラック等を設置する商店街を支援 <支援制度の内容> 「宇都宮市魅力ある商店街等支援事業補助金」 回遊性の向上や賑わいの創出に向けて、駐輪ラック等を整備する商店街等に対して事業費の1/2(15万円限度)を支援 <設置場所> オリオン通り商店街 ACプラザ：駐輪ラック2基、スポーツバイク用ラック1基(合計9台分) 宮カフェ：駐輪ラック2基(4台分)	 <p>「ACプラザ」スポーツバイク用ラック</p>  <p>「宮カフェ」駐輪ラック</p>	<p style="text-align: center;">平成25年度の方向性</p> 中心市街地商店街との協議調整や周知PRを行い、補助制度を活用促進していくとともに、道路空間などを活用した整備についても検討を行っていく。																

目標Ⅲ だれもが“楽しく”自転車が使える ～観光やスポーツの推進～

No.	重点事業	施策事業名・計画への位置付け	平成24年度の主な取組	目標達成状況（重点事業／平成24年度末見込み） 平成25年度の方向性												
8	◎	観光レンタサイクルの導入 →観光やビジネス等による来訪者のレンタサイクルの需要増加に対応するため、宿泊施設や観光施設、民間駐車場等と連携してレンタサイクルの貸出場所を増設する。	● 「おもてなしレンタサイクル」モデル事業 市内ホテル6箇所と協力し、宿泊者を対象にレンタサイクルを貸し出す「おもてなしレンタサイクル」モデル事業を継続して実施し、観光レンタサイクルの導入手法について検証 <利用者状況> ※平成22年10月～平成24年12月 累計利用者数：2,580人（月平均95.6人）  おもてなしレンタサイクル	目標達成状況〔達成率〕 <table border="1"> <thead> <tr> <th>策定時</th> <th>H23 末</th> <th>H24 末</th> <th>目標（H27）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">レンタサイクル拠点・利用者数</td> </tr> <tr> <td>4箇所 31,000人</td> <td>7箇所 34,277人</td> <td>7箇所 41,000人 (推計) ※1月末実績 34,798人</td> <td>10箇所 41,000人</td> </tr> </tbody> </table>	策定時	H23 末	H24 末	目標（H27）	レンタサイクル拠点・利用者数				4箇所 31,000人	7箇所 34,277人	7箇所 41,000人 (推計) ※1月末実績 34,798人	10箇所 41,000人
策定時	H23 末	H24 末	目標（H27）													
レンタサイクル拠点・利用者数																
4箇所 31,000人	7箇所 34,277人	7箇所 41,000人 (推計) ※1月末実績 34,798人	10箇所 41,000人													
9		コミュニティサイクルの拡充 →市営駐輪場で実施しているコミュニティサイクル（レンタサイクル）の拡充に取り組む。	● 市営駐輪場におけるコミュニティサイクル コミュニティサイクルを運営しながら、利用促進に向けたイベント時の無料貸出（割引）や体験乗車を実施 <運営状況> ※平成23年度に貸出場所を新設し、電動アシスト自転車を導入 貸出場所：市内全7箇所の有人管理駐輪場 設置台数：165台（うち電動アシスト自転車55台） <利用状況> ※平成24年4月～平成25年1月 利用率（1日平均貸出回数／設置台数）68.9% 平成23年度新設：駅東口第2 145.1%、鶴田駅 28.6%、雀宮駅東口 73.8% 電動アシスト自転車：25.0%（最大は宇都宮駅西口の37.5%）  電動アシスト自転車の体験乗車	平成25年度の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 「おもてなしレンタサイクル」については、宿泊施設の自主事業への移行を図りながら、実施施設の拡充に取り組んでいく。また、観光施設等における観光レンタサイクルの導入について検討を進めていく。 コミュニティサイクルについては、平成23年度追加した貸出場所や電動アシスト自転車の積極的なPRを行うなど、利用の定着を図っていく。 												
10	◎	モビリティセンターの整備 →自転車利用者が多く集まる中心市街地や駅に、自転車利用・活用を促進する戦略的な拠点として、休憩や自転車の修繕が可能なスペースやシャワー施設の提供、スポーツバイクのレンタルなどを行う「モビリティセンター」を整備する。	● モデル施設「宮サイクルステーション」の運営 シャワー、ロッカー施設の提供やスポーツバイクのレンタル、宇都宮ブリッツェンと連携した様々な事業を実施するとともに、モデル事業を通じて施設の有効性や必要性を確認できたことから、平成25年度に本格実施に移行することとし、平成24年10月に本格実施後の事業内容や管理方法等を定めた「宇都宮市サイクルステーション条例」を制定 <利用状況> ※平成22年10月～平成24年12月 累計来館者数：13,533人（月平均501人） 利用登録者数：1,830人（市内33%、市外67%） レンタサイクル利用者数：1,702人（月平均63人）  宮サイクルステーション	目標達成状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>策定時</th> <th>H23 末</th> <th>H24 末</th> <th>目標（H27）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">モデル事業を踏まえ設定</td> </tr> </tbody> </table> 平成25年度の方向性 指定管理者制度を導入（平成25年9月予定）し、民間のノウハウを活用するなど、さらなる機能やサービスの向上を図っていく。	策定時	H23 末	H24 末	目標（H27）	モデル事業を踏まえ設定							
策定時	H23 末	H24 末	目標（H27）													
モデル事業を踏まえ設定																
11	◎	自転車マップの作成 →自転車による観光ルートやサイクリングロードを活用したサイクリングルート、自転車利用者に役立つ施設情報などを掲載した自転車マップを作成する。	● 「宇都宮自転車マップ」の作成 平成23年度に作成した自転車マップについて、利用者の意見を踏まえ、ルートの一部見直しを行うとともに、自転車の魅力や安全走行の重要性を伝える「宇都宮ブリッツェンコラム」のシリーズ化や走行時の注意喚起、最寄りの駐輪場案内などの掲載情報の充実を図り、継続して作成、配付 <配付部数> 中心部版6,000部、郊外部版5,000部 <配付場所> 宮サイクルステーション、自転車の駅、市営駐輪場など  自転車マップ 中心部版（赤）・郊外部版（青）	目標達成状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>策定時</th> <th>H23 末</th> <th>H24 末</th> <th>目標（H27）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">自転車マップ配付部数</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>11,000部</td> <td>11,000部</td> <td>実績値</td> </tr> </tbody> </table> 平成25年度の方向性 宇都宮ブリッツェンなどとも連携しながら、さらなる掲載内容の充実を図り、ジャパンカップ開催時期を中心に効果的な配付を行っていく。	策定時	H23 末	H24 末	目標（H27）	自転車マップ配付部数				—	11,000部	11,000部	実績値
策定時	H23 末	H24 末	目標（H27）													
自転車マップ配付部数																
—	11,000部	11,000部	実績値													

No.	重点事業	施策事業名・計画への位置付け	平成24年度の主な取組	目標達成状況（重点事業／平成24年度末見込み） 平成25年度の方向性
12		ジャパンカップのPRの実施 →ジャパンカップの開催に併せて、中心市街地においてPRイベントを開催するなど、ジャパンカップのPRを通じて、市内外に「自転車のまち宇都宮」をアピールしていく。	● 「WELCOMEクリテリウム」の実施 ジャパンカップクリテリウムの開催に合わせ、オリオン通りをメインとした中心市街地において、ジャパンカップや宇都宮ブリッツェン等の情報発信を行う期間限定ショップ「ブリッツェンミュージアム」の開設や自転車関連メーカーが最新自転車を展示・販売する「サイクルストリート」などを実施 【参考（平成24年度ジャパンカップ来場者数）】 「クリテリウム」約38,000人 「サイクルロードレース」約78,000人 サイクルストリート	平成25年度の方向性 中心市街地全体のさらなる賑わいの創出や「自転車のまち」「おもてなしのまち」宇都宮のより一層の周知・PRを図るため、自転車関連企業・団体やメディア等との連携強化やイベント事業充実について検討していく。
13		自転車普及イベントの実施 →一般市民が参加できるサイクリングイベントを開催する宇都宮ブリッツェンなどに対して、既存の公園施設の外周路や宇都宮競輪場を開放するなどの運営支援を行い、プロスポーツと連携して、自転車の普及促進に取り組む。	● 宇都宮ブリッツェンによる「市民クリテリウム」の実施 サイクルイベントに公園の外周路を活用できるよう、車止めの移設や未舗装部分のアスファルト舗装などを実施した道場宿緑地において、平成24年2月に宇都宮ブリッツェンが、市民参加型イベント「ブリッツェンクリテリウム」初めて開催、今年度も引き続き2月24日に開催予定 ブリッツェンクリテリウム	平成25年度の方向性 「自転車のまち宇都宮」のPRや自転車のさらなる普及促進に向けて、宇都宮ブリッツェンなどの関係団体との連携を強化していく。

目標Ⅳ だれもが“健康とエコ”に自転車が使える ～観光やスポーツの推進～ **その他** 「自転車のまち宇都宮」の推進

No.	重点事業	施策事業名・計画への位置付け	平成24年度の主な取組	目標達成状況（重点事業／平成24年度末見込み） 平成25年度の方向性																				
14	◎	自転車モニター事業の実施 →自転車利用による健康増進や環境問題に対する意識の向上を図るため、自転車利用の効果を広く呼びかけるとともに、その効果を実際に体感してもらうための機会を提供する「自転車モニター事業」の実施を検討する。	● 自転車モニター事業の検討 今後の自転車モニター事業の実施に向けて具体的な実施手法を検討 ● その他事業の実施（参考） 高齢者の健康の維持・増進や介護予防を目的に、宇都宮ブリッツェンの選手と一緒に、ストレッチや自転車を使った簡単な運動などを行う「いきいき健康自転車教室」を開催 <実施内容> <ul style="list-style-type: none"> 市内4箇所（河内地区、清原地区、南図書館、ろまんちっく村）で実施 65歳以上の高齢者を対象に、宇都宮ブリッツェンの選手が自転車を使ったエクササイズなどを講習 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">目標達成状況</th> </tr> <tr> <th>策定時</th> <th>H23 末</th> <th>H24 末</th> <th>目標（H27）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4 企業</td> <td colspan="2">エコ通勤実施企業数</td> <td rowspan="2">10 企業</td> </tr> <tr> <td>4 企業</td> <td>4 企業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">—</td> <td colspan="2">自転車モニター事業参加者数</td> <td rowspan="2">実績値</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成25年度の方向性</p> メディアなどを効果的に活用しながら、自転車利用による健康増進や環境問題に対する意識の向上を進めていくための方策を検討していく。	目標達成状況				策定時	H23 末	H24 末	目標（H27）	4 企業	エコ通勤実施企業数		10 企業	4 企業	4 企業	—	自転車モニター事業参加者数		実績値	—	—
目標達成状況																								
策定時	H23 末	H24 末	目標（H27）																					
4 企業	エコ通勤実施企業数		10 企業																					
	4 企業	4 企業																						
—	自転車モニター事業参加者数		実績値																					
	—	—																						
15		「自転車のまち宇都宮」のPR →「住めば愉快だ宇都宮」の都市ブランドメッセージと連動しながら、市内外に対して積極的に「自転車のまち宇都宮」のPRを行っていく。	● バイコロジーシンポジウムの開催 市内外から多くのサイクリストや観光客が訪れる「ジャパンカップ」に併せて、「バイコロジーシンポジウム in 『自転車のまち宇都宮』」を開催、有識者によるシンポジウムや民間企業等と協力した「自転車ナビ体験サイクリング」などを実施 ● ベロタクシーを活用した「自転車のまち」のPR 平成24年10月に市民より「ベロタクシー」の寄贈を受け、市役所本庁舎における展示やジャパンカップクリテリウムのウイニングランで走行し「自転車のまち」をPR	平成25年度の方向性 イベント時に市民や観光客を「ベロタクシー」に乗車させるなど、さらなる活用を図っていくとともに、ジャパンカップ開催時に鉄道事業者と連携して「サイクルトレイン」を運行するなど、より効果的なPR事業を検討、実施していく。																				

自転車のまち推進計画 「平成24年度の主な取組」〔重点事業総括表〕

No.	施策事業名	平成24年度の主な取組	目標達成状況〔達成率〕					
			策定時	H23 末	H24 末	目標 H27	進捗評価	
1	新たな自転車走行空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 優先整備路線における自転車走行空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 競輪場通り（今泉新町交差点西～東署南交差点）：L=520m〔自転車専用通行帯〕 （松原3丁目交差点～下戸祭2丁目の一部区間）：L=400m〔自転車専用通行帯〕 ・ 市道3761号線（弁才天橋～競輪場通りの一部区間）：L=600m〔自転車専用通行帯〕 ・ 富士見通り（不動前通り～中央図書館西）：L=900m〔自転車専用通行帯〕 ※「南宇都宮駅前通り」の代替路線 ● 自転車走行空間整備に併せた走行実験等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一方通行化走行実験（いちょう通り） ・ 自転車走行位置明示試行実施（競輪場通りと国道4号線交差点） 	9.6 km	14.5 km	16.9 km [46.2%]	25.4 km	◎	優先整備路線における整備を計画的に推進しながら、自転車歩行者道における一方通行化の走行実験を行うなど、より安全性の高い整備検討に向けた取組を実施している。
3	交通安全教室等継続・拡充	地域住民や学校、県警などと連携しながら、様々な交通安全教室、啓発活動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇都宮ブリッツェンと連携した自転車安全利用教室（導入学校を拡大） ・ スケアードストレイト方式による交通安全教室（実施回数を拡大） ・ 自転車の安全な利用のための街頭指導（実施箇所を拡大） など 	宇都宮ブリッツェンと連携した自転車安全利用教室導入学校数（年間） —	3校 (1,902人)	5校 (2,131人) [31.3%]	16校	◎	自転車安全利用教室導入学校や街頭指導の実施箇所を拡大するとともに、スケアードストレイトについては目標を上回る回数を実施している。
			スケアードストレイト実施回数（年間） —	5回 (2,494人)	7回 (4,497人) [116.7%]	6回		
4	休憩スポット（自転車の駅）の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニエンスストアと連携して「自転車の駅」の設置を推進 ・ 誘導案内の充実に向けて案内看板を新設 	—	16箇所	30箇所 [83.3%]	36箇所	◎	コンビニエンスストアを中心に設置数を拡大するとともに、誘導案内の充実にも取り組んでいる。
5	鉄道駅周辺の駐輪場整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR宇都宮駅西口市営駐輪場の供用開始（240台拡充／平成24年4月供用開始） ・ 東武江曾島駅の市道上暫定駐輪場に代わる駐輪場整備 （約250台／平成25年6月供用開始予定） 	7,912台	8,692台	8,692台 [102.1%]	8,512台	◎	自転車利用が多いJR宇都宮駅周辺で駐輪場整備に取り組み、目標を上回る収容台数を確保している。
8	観光レンタサイクルの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「おもてなしレンタサイクル」モデル事業の継続実施及び観光レンタサイクルの導入手法の検証 ・ コミュニティサイクルの利用促進に向けた体験乗車 	4箇所 31,000人	7箇所 34,277人	7箇所 41,000人 (推計)	10箇所 41,000人	○	コミュニティサイクルの貸出拠点場所新設などにより利用者数の目標は達成しているが、観光レンタサイクルの導入については実現化に至っていない。
10	モビリティセンターの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル施設「宮サイクルステーション」の継続運営 ・ 平成25年度の本格実施への移行に向けて、本格実施後の事業内容や管理方法等を定めた「宇都宮市サイクルステーション条例」を制定（平成24年10月） 			モデル事業を踏まえ設定		◎	モデル事業の実施状況を踏まえ、「宮サイクルステーション」の本格実施に向けた準備が進められている。
11	自転車マップの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の意見を踏まえたルートの一部見直しや自転車の魅力や安全走行の重要性を伝える「宇都宮ブリッツェンコラム」のシリーズ化、走行時の注意喚起、最寄りの駐輪場案内などの掲載情報の充実 	—	11,000部	11,000部	実績値	◎	自転車マップの掲載情報の充実を図りながら、効果的に配布している。
14	自転車モニター事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の自転車モニター事業の実施に向けて具体的な実施手法を検討 	4企業	4企業	4企業	10企業	△	効果的な自転車モニター事業の実施に向けて検討を行っているが、実現化に至っていない。
			—	—	—	実績値		

※「進捗評価」・・・◎＝スケジュール通り実施している ○＝概ねスケジュール通り実施している △＝スケジュールから遅れている ×＝スケジュールから大幅に遅れている